

沿岸各地の水温

日本海 12 ~ 13 °C
陸奥湾 9 ~ 14 °C

今回は青森を除き、その他全海域で降温しました。平均前回差は-0.7度となっています。

昨年と比べると、日本海側で+1.5度、津軽海峡側で+1.8度、陸奥湾内で+2.0度、太平洋で+1.6度となっており、平均昨年差は+1.8度でした。

平年と比べると、日本海ではなほ高め、陸奥湾でかなり高め、太平洋、津軽海峡ではやや高めとなっています。平均平年差は+1.5度でした。

(12月16~20日)

津軽海峡 12 ~ 13 °C
太平洋 9 ~ 12 °C

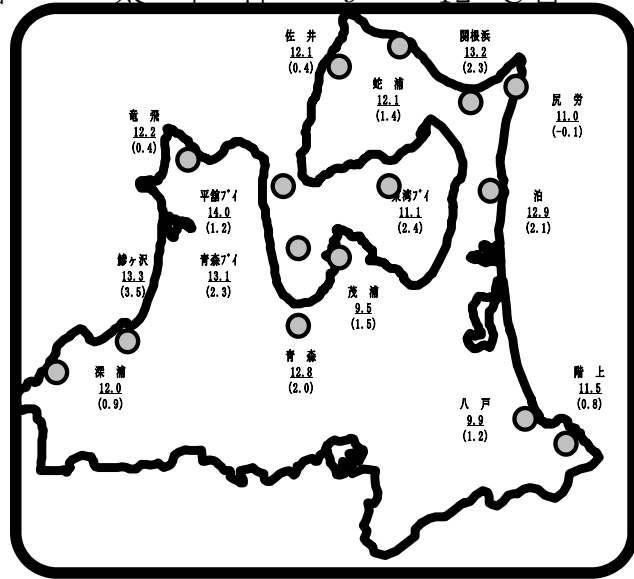


図 定地水温 (12月16~20日) 平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	12.0	+0.9	+0.5	-1.1
鮎川	13.3	+3.5	+2.4	-0.1
竜飛	12.2	+0.4	+0.7	-1.0
佐井	12.1	+0.4	+2.6	-0.4
青森	12.8	+2.0	+2.0	+0.1
蛇浦	12.1	+1.4	+1.2	-0.4
関根兵	13.2	+2.3	+2.5	-0.8
尻屋	11.0	-0.1	-0.1	-1.2
泊	12.9	+2.1	+2.8	-0.1
八戸	9.9	+1.2	+2.5	-0.9
階上	11.5	+0.8	+1.1	-1.2
茂浦	9.5	+1.5	+1.6	-1.2
平館	14.0	+1.2	+1.2	-0.8
青森	13.1	+2.3	+2.4	-0.4
東湾	11.1	+2.4	+2.9	-0.9
平均	12.0	+1.5	+1.7	-0.7

太平洋の海況 (12月18~21日)

概況；沿岸水温は13~14°C台

○太平洋沿岸域の表面水温

ほぼ前回並みで、前年同期と比べ1~2度高い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

14°C等温線でみると東経141度50分付近までと、前回と変わっていません。

○親潮系冷水の南下

10°C等温線でみると北緯40度分20付近までと、南下は前回より弱まっています。

日本海の海況 (12月18~21日)

概況；沿岸水温は14°C台

○日本海沿岸域の表面水温

前回は比べ1度ほど降温し、前年同期と比べ1度ほど高い水温となっています。

◎本県太平洋沿岸予測水温 (2009年1、2、3月)

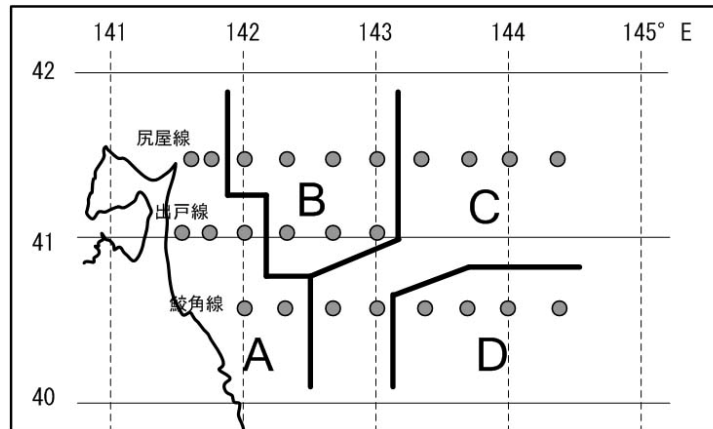
2008年12月までの定線観測及び各種データを基に、本県太平洋沿岸の水温100m層の水温を、自己回帰モデルを用いて2009年1~3月の水温予測を行いました。

予測は右図(クラスター別海域図)のように4つの海域に別けて行いました。その結果、下表のとおり、むこう3ヵ月は沿岸域のA海域で過去平均水温と比べ-0.4度平年並み、津軽暖流域のB海域で-0.8~-0.9度とやや低め、親潮系冷水域のC海域で-0.9度とやや低め、混合域のD海域で-1.3~-1.4度とやや低めからかなり低めで推移するものと思われます。

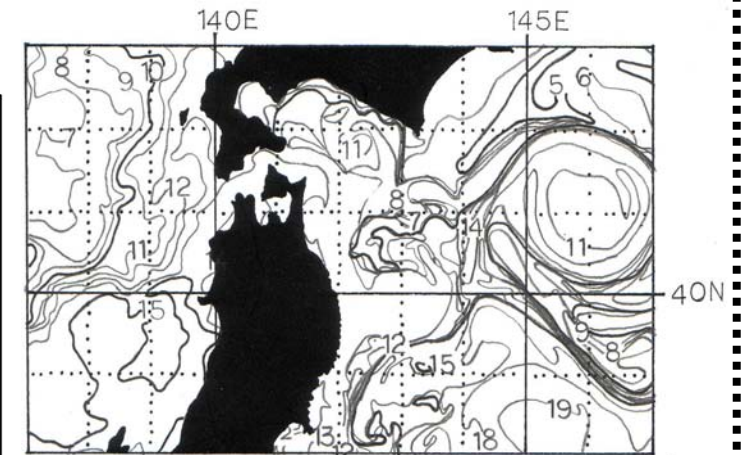
今回の100m層の水温予測では、全海域において、1月に入り現況の平年より高めの傾向から低め傾向へと変わり、2~3月はそのまま低め傾向で推移するという結果がでました。

自己回帰モデルによる予測結果(WARD法)

		°C			
		A海域	B海域	C海域	D海域
2009年1月	予測水温	5.8	6.0	4.3	5.4
	過去平均水温	6.2	6.9	5.2	6.7
2月	予測水温	5.0	4.7	3.1	3.4
	過去平均水温	5.4	5.6	4.0	4.8
3月	予測水温	4.8	4.2	2.7	2.9
	過去平均水温	5.2	5.0	3.6	4.2



クラスター別海域図



資料：(社) 漁業情報サービスセンター 北部太平洋海況情報 第76号 12月22日

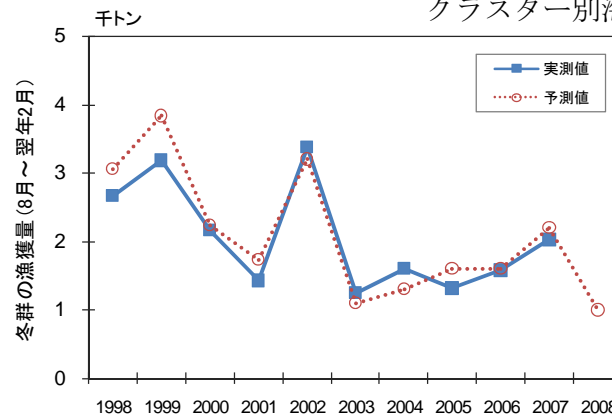


図1 冬群の漁獲量(実測値と予測値)の推移

◎ヤリイカ冬季来遊群漁況予測

予測対象：2008 (H20) 年8月から2009 (H21) 年2月までの予測海域におけるヤリイカ冬季来遊群の漁獲量 (図1)

予測海域：青森県~北海道渡島地方~岩手県

予測方法：漁期序盤 (8~11月) と漁期全体 (8月~翌年2月) の漁獲量には高い相関 (相関係数0.9) があり、算出された関係式に2008年漁期序盤の推定漁獲量122トンを代入して求めた。

予測漁獲量：1,000トン (前年実績比49%、5ヶ年実績平均比64%)